

臨時社員総会議事録(Ver.2)
一般社団法人獨協大学同窓会
令和6年6月25日

出欠確認 19:15

参加者確認(金井専務理事)

会場出席者 3名、大西会長、山本副会長、金井専務理事

オンライン出席者 10名、菅沼副会長、(理事)飯塚、黒木、高橋、百田、佐藤、(代議員)高木、前田、柳田、河野

書面行使 6名、柘植(賛成)、奥山(賛成)、亀崎(賛成)、澤田(反対)、田井中(賛成)、佐久間(賛成)

委任状は無し、

代議員数は22名であり過半数は12名です。

オンライン出席監事 2名、富岡、中島

オンライン出席専門委員 2名、鳥羽、中島

【開会宣言】(大西会長)

総会が適正に成立するものと認めます。併せて、富岡監事、中島監事が出席。また専門委員の方が傍聴されています。

お詫び(大西会長)

本臨時総会の招集通知を6月7日に発送した際、「招集通知」を入れ忘れて投函してしまった事をお詫びいたします。今後は再発防止措置として、印刷・封入・投函の作業を金井専務理事が立ち会って、確認する事といたします。

議事録署名人選出(大西会長)

高橋政晴氏(理事)、河野直樹氏(代議員)、にお願いしたいと思います。

異議なしとなり、選出された。

1号議案【獨協大学同窓会 会費改定について】(大西会長)

将来に向けた財政基盤強化が急務となってきました。このため、会費の改定を検討する事となりました。現在、同窓会の収支は健全ですが、既に㈱デュオが赤字となりまた、同窓会入会率は減少することで収入減は深刻化しています。本年度の入会率は63%となり以前のような70%代を下回る傾向です。また、入学者数については文科省からの学生定員に関する指導で、以前は学年毎に定員の120%以下、と定められていましたが、2018年からは全学生定員の120%以下、に変わってきました。入会率のみならず、2026年以降

は18歳人口の減少に伴い、大学進学率は更に向上する予測ですが、入学者数は、減少することが予測されています。入会率の減少の要因としては、新1年生の授業料決済のオンライン化があります。授業料等の学納金についてオンライン決済を希望する、をクリックすると卒業時同窓会入会費も含まれるシステムです。これが想像していたよりオンライン決済希望者が少なかった。という事情があります。

今回、改定案が認められ、大学に採用されますと2026年の入学生から施行され、これは2030年(卒業時)に同窓会が使用できる現金となります。今回の改定内容は、入学時に現行1万円→2万円とし、卒業時は現行3万円のままとし、合計4万円→5万円に改定するものです。現在の会費4万円は、1991年に3万円から改定されたもので、既に32年が経過しました。2023年、単年でみると赤字(収支については収入目標額に対し約1千万の減額)でした。

(資産は約4億円)

(黒木理事)

人口減少、少子化などありますが、今回の値上げには賛成ですが、値上げをして収入が減った大学も過去にあります。このようなリスクについてはどのように考えますか。

(大西会長)

リスクは考えていますが、改定トータルで鑑みた場合、メリットがあると考えます。同窓会の収入が増える部分、同窓会活動を活発にしたり、奨学金なども増額して貢献したいと思います。

(黒木理事)

もう1点、同窓会員になるメリットはなんでしょうか。

(大西会長)

会員同士、横の繋がりというメリットがあると思います。また母校への貢献が同窓会役割だと思っています。

(黒木理事)

会員になったメリットとは思えません。成功していると思われる法政大学では、会員に暗証番号(Key)を交付して、様々なサービスが受けられるようです。そのようなステータスのようなものを提供する必要性を感じます。

(高木代議員)

黒木理事に同感です。会員になるメリットを感じられない事が加入率に影響しているのではないのでしょうか。また、オンライン化に伴い加入率が下がった事を考えると総額5万円に上げた場合、更に加入率の低下を危惧します。従って、同窓会に入会するメリットを打ち出す必要を感じます。値上げに対し反対はしませんが、今回決定したことで、入会率が一層下がり、後戻りできなくなる事を危惧します。

(金井理事)

オンライン化のシステムについて補足します。

学納金納付に際し、従来通り振込用を用いるか、或いはネット上の手続きで学納金の自動引き落としを希望するか、の選択を保護者に委ねるシステムです。大学は、現状を鑑みて、ネット決済の希望者が多いだろうと目論んでいました。一方、そのサイトには、同窓会員になるか否かの選択肢は有りません。つまり、学納金等の自動引落を選択すると自動的に卒業時の同窓会入会費も引落されるシステムです。

(飯塚理事)

同窓会入会費の代理徴収について、会費の値上げは大学側は了承しているのでしょうか。

(大西会長)

会費改定に関しては内々に話をしており理解は得られていると思っています。

(飯塚理事)

分かりました。会費を上げると言うことは、従来入会案内は保護者に出していると思います。それで入会率が低下しているのは、保護者の経済状態が悪化しているのではないのでしょうか。今日の経済情勢を鑑みて、今回値上げした場合、60%の入会率を確保できるでしょうか。ついては、入会率が50%になった場合のデータも欲しいと思います。従って安易に値上げして入会率が一層低下した場合、やはり値下げする。という選択肢はとれませんよね。そういう事を考えた場合、もう少し深く考えた議論が必要だと思います。

(大西会長)

卒業時の3万円は変わりません。

(飯塚理事)

払う側にとっては、4万円→5万円は大きいと思います。

(黒木理事)

大学が代理徴収するのは決定事項でしょうか、会費を上げるのは残念な事ですが、大学が代理徴収しているところは上手く行っているという情報があります。

(大西会長)

同窓会で承認されれば、大学は動きます。

(黒木理事)

先日、獨協大生300人に聞いた。というアンケートを入手しましたが、食費がままならない、という学生が結構多いという現状を知りました。やはり、そのような背景を考えながら総括的な部分で同窓会員になるメリットについて協議頂きたいと思います。

(飯塚理事)

代理徴収するのであれば、5万円全額大学にお願いすればよいと思います。

(大西会長)

全額を代理徴収するという話は、しておりませんでした。入学時の1万円を2万円にする、という話を共有していました。

(佐藤理事)

赤字の話がありました。そもそも赤字を是正しないと値上げしても解決にはならないと思います。いつ頃から赤字ですか？ またその原因と解決案はありますか？

(大西会長)

2023年は単年度の赤字(収入減)です。入会者数の減少により当初計画した入会費が1千万円ほど減額になりました。一方支出額は変わっていないため、単年度の赤字となりました。同窓会の活動を縮小すれば赤字は改善出来ます。また、同窓会誌発送費の上昇がありますが、現状では内部留保があるため、4-5年は大丈夫ですがその後を鑑み今改定が必要です。今後、支出の適正化も図って行きますが、それだけでは不十分だと考えます。

(佐藤理事)

分かりました。2023年の収入が5千万円ほどに減収となったのですね。そうしますとこの収入の中で同窓会の活動を出来る範囲で行い、活動を縮小しないながらも予算の中でやって行く事が必要だと思います。

(菅沼理事)

大学も授業料値上げを検討していて、そこに同窓会費5万円代理徴収は難しという大学側の感触でしたので、2万円だったら、という決断です。

(高木理事)

卒業時に更に徴収するのは、今の時代、厳しくなっていると思います。値上げによる顧客離れが心配です。現4万円の会費の内、2万円を入学時に代理徴収するのであれば、入会率の下げ止まりが期待できるかもしれません。卒業時に現在3万円のところを2万円に減額して加入率の様子を見るのも一手だと思います。一方同窓会の支出についてはスリム化を検討することも必要でしょう。入学時の代理徴収を2万円に上げて会費総額4万円の状況について改善が見られるか検討したいです。その次の段階で今回のように5万円に改定する事を段階的に検討してはいかがでしょうか。今、合計5万円です、というのはハードルが上がってしまうと思います。

(大西会長)

どういう形で値上げをするかを検討してきました。総額4万円ではメリットがないので5万円と計画しました。また、支出のスリム化によって同窓会活動の縮小は本意ではないと考えています。

(黒木理事)

現役ばかりから金をとるばかりでなく、今後一定の年代に達したOB(例えば70歳を超えたOB)から徴収するような方向性も検討したらいかがでしょうか。終身会費制をとっている歴史ある大学も臨時徴収の受け皿が設定されたりしているようです。

(山本理事)

今回の入学時2万円の代理徴収は、大学が認めてくれる良いタイミングであると思います。本案が議決されても、6年後にならないと同窓会の収入にはならないという事です。その

辺を皆さんもう一度考えて欲しいと思います。次期、次々期会長のためにも今行動することが必要に思います。

(黒木理事)

そのような事を踏まえて意見申し上げております。そのような環境に於いても、今まで意見が上がったような課題が有ることを議論しています。真っ向から反対している、という意見は出ていません。

(河野代議員)

現役大学生に対する同窓会のアピールが足りないと思います。教え子は、同窓会ってなんですか？と言う始末です。やはり入会するメリットが感じられないと思います。同窓会の活動を現役の学生にアピールする活動が必要だと思います。DUOが赤字となるなどしているので、活動の縮小が必要だと感じます。

(大西会長)

アピールの活動は必要に思います。今後はもっとやって行きたいと思います。

(菅沼理事)

河野さんご指摘の通りだと思います。コロナも収まったので今後、これから企画事業を活動を活発にしたいと考えています。

(鳥羽専門委員)※参考意見

今、河野氏と菅沼氏のご意見、同窓会のアピールが必要とのご意見に賛同します。4年生対象に就活の援護が出来たらと考えます。同時ネット上で同窓会の存在を高めるのはいかがでしょうか。

(大西会長)

それでは、採決に入りたいと思いますが。

(高木理事)

決をとるとのことですが、9月の臨時総会で、まとまらなかった場合を考えて今回開催したのですよね。執行理事、理事の皆様で検討されてきた事は良く理解しました。一方、代議員の方々にはもっと考えて頂く時間が必要に思います。今日は問題提起という事で、9月まで継続審議としたらいかがでしょうか。

(飯塚理事)

内諾を得ている大学側の2万円の代理徴収はありがたいですが、卒業時の3万円会費で、入会率が落ちた場合を考えると難しいので、合計4万円の会費でしばらく様子を見たいと思います。また値上げするには、もっと同窓会の存在価値を上げる努力をする必要性を感じます。もっと議論を深めたいと思います。

(大西会長)

大学側の準備もあるため、今日決めたいと思って開催しました。

(高木理事)

今、出てない代議員もいるので、方向性は理解できましたが本日決裁するのではなく、別の日にもう一度審議されたいかがでしょうか。

(黒木理事)

本日参加されている代議員は 4 名との事ですから、もっと多くの代議員に参加頂いて議論して頂く事を希望します。

(佐藤理事)

前回の理事会で臨時社員総会を決めてから、直ぐ情報を発信すればよかったと思います。代議員の方に本案が示されたのは、6月7日に臨時社員総会の案内が発送されてからですよね。5月の理事会で示されたと思いますので、早めにアナウンスしたら良いと思います。また、執行部の本案件に対する決意の希薄さを感じました。大学側がいつまでだったら待てる、などのタイムラインはあるのでしょうか。

(大西会長)

本日、決められるのなら決めたいですが、慎重に考えないといけないと思います。また大学側がいつまで待てるのかは不明です。そのような中で、本日、もっと議論に時間を費やすべきだ、という意見が複数上がったことを尊重したいと思います。30年に1度の案件となっていますので、慎重に進めたいと思います。

(河野代議員)

書類審議では反対としていますが、基本的には改定に賛成です。しかし、条件付きです。つまり、現役の大学生に同窓会の活動をアピールするとか、就職支援を行うとかです。現在はキャリアセンターが就職支援をしていますが、それとは別に同窓会が支援活動を出来ないのでしょうか。そのような活動を開始出来るのなら会費値上げに賛成です。

(前田代議員)

様々ご意見、ごもっともだと思います。先程の佐藤氏の発言のように、大学が代理徴収して頂けるタイミングなら、この話は決めた方がよいと思います。そして卒業時の2万または3万円を今後どうしていくかという部分ですが、今後3年4年生には「同窓会に入るメリット」を感じてもらえるような活動が必要だと思います。4万または5万円の一括代理徴収が難しいのであれば、とりあえず今回2万円の代理徴収を決めて今後、現役学生に対する活動を具体化してもらいたいと思います。

(菅沼理事)

皆様のご意見はごもっともだと思います。キャリアセンターでは1年生からOBの方々との交流を1、2回程行っています。コロナ禍では、キャリアセンターとオンラインによる「ミートアップ」を立ち上げ、就職の支援をしていました。現在は中断しているため、今後、企画事業委員会として再開する予定です。そして前田氏の意見と同じで2万円の代理徴収については、今決めた方が良いと思っています。

(大西会長)

会費改定は合計で改定する案件です。入学時の代理徴収2万円と卒業時に4万円か3万円のどちらにするか、という事ではありません。合計で、現行の4万円から5万円に改定する、という案件でご承認を得たいと思います。

(黒木理事)

菅沼氏の発言の通り、同窓会員になれば色々な情報が得られるということのアピールしたらよいと思います。

(飯塚理事)

そうですね、もう少し代議員の方々との議論を深めたいと思います。以前私が何年か後には破綻する事を提唱したように状況が悪化していますので、会費を値上げする事の必要性は理解しています。もう少し議論を深めて各委員会でまとめて頂きたいと思います。

(大西会長)

本日決をとるか否かについて皆さんの意見を求めます。

山本○

菅沼×

金井○

飯塚×

黒木×

高橋○

百田×

佐藤×

高木×

前田○

柳田○

河野×

先送り7票で次回とします。

2. 報告事項

組織と事務局職員

(大西会長)

組織

9月30日をもって、(株)デュオが同窓会からの業務を請け負うという形態は終了とし、10月1日からは同窓会が職員を雇用し直接運営します。(株)デュオは、同窓会と大学の下にぶら下がり、セブンイレブンや書店、不動産会社などの店舗管理や保険業務などの営利事業に特化した業務形態とします。職員は、(株)デュオまたは同窓会、どちらかに所属します。互いの業務に携わる際には出向扱いとします。業務内容は変わりません。目下、同窓会の

就業規則などを作成中です。完成後には理事会にお知らせします。

職員採用

吉原氏の3月末退職に伴い同窓会事務室の職員は3名となりました。現在、業務遅延などが発生しているため、1名採用して4人に戻したいと思います。本件は(株)デュオ取締役会で承認を得ました。以前、代議員を経験している笠原氏(60歳)を採用します。

(黒木理事)

本日の冒頭でも(株)デュオが赤字。以前には(株)デュオの社員の時間給について理事会で多くの時間を割いて議論しました。という中で更に採用という事は疑問に思います。新たに管理職を採用するとの事ですが、現在3名の社員体制で更に管理職がなんで必要なのでしょう。また、理事会でも総会でもこれを審議事項ではなく報告事項で済ませられるのでしょうか。更に、沖山氏もそうですが、笠原氏も大西会長の知り合いですね。これは非常に疑問に思います。事務局員は学生アルバイトでも良いと思っています。また、公募すればよいのに会長の知り合いばかり、というのも疑問に思います。年間4~5百万の人件費が発生するのに、報告事項とはどうお考えなのでしょう。

(大西会長)

前回の理事会で事務局員の採用について報告いたしました。現在は(株)デュオで採用ですが、新しい組織になって同窓会からの雇用になれば賃金は理事会で決めるようになります。過去、岩崎会長の際は週に2~3回出勤され、プラス大曲氏が勤務し、女性が3名いました。大曲会長時代には、大曲氏に加え、宮本氏が勤務し、女性が3名存在していました。その時、同窓会は一般社団法人に移行するに際し、岩崎氏も週に何回か出勤されていた事実があります。業務量は結構有り、4~5名の事務員体制をとってきました。現在は3名体制のため、業務処理能力が低下している状態です。貴重な会費から賃金を捻出しているため、大切に使わなければならない事は重々承知しておりますが、増員は必要と考えます。またコストパフォーマンスを考慮すると60歳以上を雇用するしかありません。

(黒木理事)

やはり公募したほうが良いと思います。会長が私物化していると思います。会長の知り合いばかり単独で決めているのではないですか。理事会の中で、誰かいい人いませんか、とアテンションしたことはありますか。一人で決めているのではないのでしょうか。散々人件費削減を提唱しておきながら、会長がやっていることは真逆です。赤字の(株)デュオはもっと赤字になります。(株)デュオは業務縮小すると言っている訳ですから人は要らないと思います。今の3名の事務局員から人が足りない、要望が上がったのでしょうか。

(大西会長)

吉原氏が退職する際、後任を探さないと業務は回らなくなりますよ、と吉原氏から訴えがありました。

(黒木理事)

自分の独断で解釈していませんか。私が事務局のある方に尋ねたら、現状の3名で十分足りています。と、言っていました。なんでそこに管理職を年間4~5百万円かけて採用するのですか。赤字の会社に於いてそのような採用が必要な理由を述べてください。

(大西会長)

業務量が多いため、時間を費やしている状況が発生しています。

(黒木理事)

誰がそのような状況を訴えていますか。

(大西会長)

ここに同席している事務局長からも聞いています。

(黒木理事)

仕事というのは、人が多ければ多いほど楽が出来ます。もう結構です。

(飯塚理事)

沖山氏、笠原氏を㈱デュオで雇っているのは、どのような雇用形態ですか。

(大西会長)

嘱託です。

(飯塚理事)

笠原氏は、嘱託で㈱デュオが採用するのですね。その後、同窓会からの雇用に移行する件では理事会で審議されていなかった、という事ですね。同窓会雇用に移行する際、その時の同窓会幹部が、雇用不要と判断する場考えると、今回の採用はお二人を馬鹿にしている人事だと思います。

(大西会長)

組織を変更する事、その際雇用形態が変わる、という事は理事会で説明してきました。

(飯塚理事)

分かりました。説明は受けただけ報告事項だった。という事ですか。理事会で揉んで承認は得ていない。という事ですね。

(大西会長)

今後の理事会では、同窓会で雇用する件については理事会で審議となります。

(飯塚理事)

そのような人事は良くないと思います。働いている人の地位を脅かしています。同窓会が必要ありません。派遣会社にした方が安価ですとなった場合、このお2人は同窓会に移行して働くという期待をもって入ってきていると思います。

(黒木理事)

笠原氏ですが、10月から同窓会雇用とのことですが、先日6月8日の集いに来ていましたよね。採用前にどうして来ていたのですか。

(大西会長)

笠原氏が来てみたい、というので呼びました。

(黒木理事)

会長の判断でそういうことをして良いのですか。

(大西会長)

「同窓会員の集い」ですから、同窓生として参加したまでです。

(黒木理事)

でも手伝いをしていましたよね。

(大西会長)

手伝いは他の人も数名して頂きました。

(黒木理事)

先程、飯塚氏も言っていますが、このような事は凄く疑問です。

【閉会宣言】

(大西会長)

活発なご意見ありがとうございました。

9月28日に臨時社員総会を開催しますが、大学側のスケジュールによっては、それ以前に再度、臨時社員総会を開催するかもしれません。

以上

【議事録作成者】

沖山 秀司

【議事録署名人】

高橋 政晴 ㊞

河野 直樹 ㊞